【分配金のお知らせ】

2016年4月19日
野村アセットマネジメント株式会社

「野村ワールドリート通貨選択型ファンド(愛称:ワールドリートプラス)」「ブラジル・レアルコース」の2016年4月18日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村ワールドリート通貨選択型ファンド(愛称:ワールドリートプラス)」の2016年4月18日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算において、世界のリート市場とブラジル・レアルの市場動向ならびに基準価額水準を勘案し、「ブラジル・レアルコース」の分配金を引き下げることといたしました。

1万口当たり60円(課税前)(前回決算時は110円)

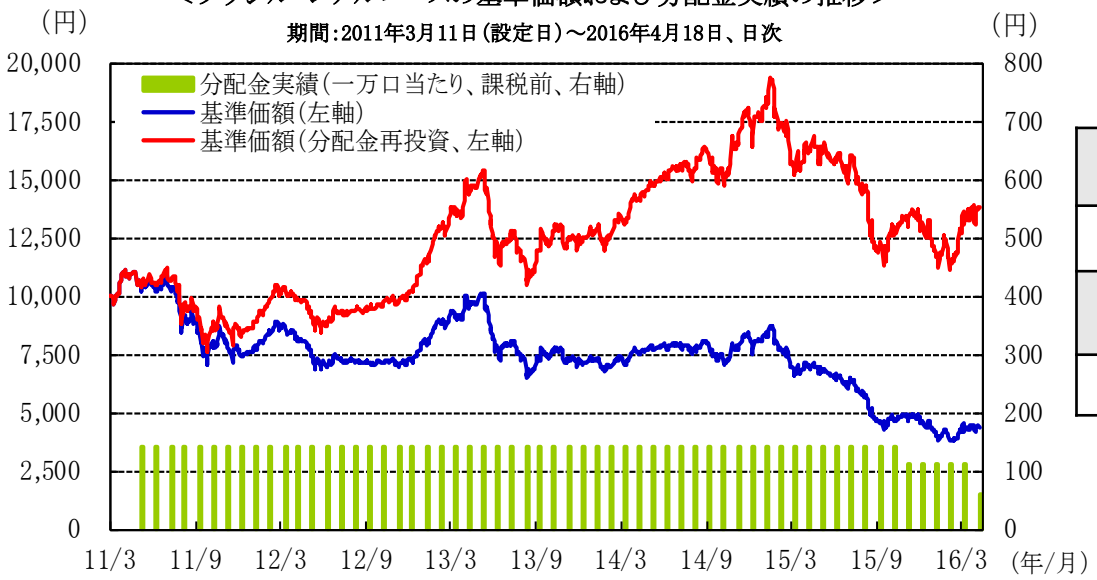
原則、毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。
※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

【分配金引き下げの背景】

今回の決算におきましては、分配金の継続や運用資産の健全性維持、配当等収益などに影響を与える今後の市場動向、現状においては基準価額に対する分配金額の水準が高まっていることなどを総合的に勘案した結果、「ブラジル・レアルコース」の分配金を前回決算時の110円から60円に引き下げました。

将来の運用成果を高めることを目指し、基準価額の回復に努めて参ります。

＜ブラジル・レアルコースの基準価額および分配金実績の推移＞



2016年4月18日現在

基準価額(分配金再投資)
13,842円
基準価額
4,395円

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

「ブラジル・レアルコース」の基準価額(分配金再投資)は、直近1年間(2015年3月末から2016年3月末まで)で11.1%下落しました。同期間において、ファンドが投資するリート資産の価格は4.2%上昇し、ブラジル・レアルは対円で15.8%下落しました。

以下に、直近1年間のファンドの投資環境についてご説明いたします。

以下はCBREクラリオン社の情報提供に基づき、野村アセットマネジメントが作成しています。

直近１年間のファンドの投資環境

【世界のリート市場】

世界のリート市場は、中国の景気減速懸念などを背景として投資家のリスク回避姿勢が強まり、2015年8月に大幅下落となりました。その後、中国株式市場の下げ止まりなどを受けて回復する局面もありましたが、2016年2月初めまでは投資家心理に左右される不安定な動きとなりました。欧州における地政学的リスクの高まり、米国の利上げなども市場の重しとなりました。しかし、2016年2月半ば以降は、原油価格の反発や米国における3月の利上げ見送りなどを背景とした投資家心理の改善を受けて上昇に転じました。

なお、2016年3月末現在でファンドの投資比率が最も高い米国においては、不動産ファンダメンタルズの改善や不動産市場への資金流入が実物不動産市場を支え、各リートは底堅い決算内容や増益見通しを示しました。日本では、マイナス金利の導入などによる国内長期金利の低下を背景にリートの相対的に高い利回りが注目され、リート市場は堅調なパフォーマンスとなりました。

【ブラジル・レアル市場】

ブラジル・レアル市場は、2015年に国営石油公社ペトロブラスに関連する汚職疑惑が発覚したことで政権運営に関する不透明感が増したことや、中国の景気減速懸念などを背景とした原油価格の下落などを背景に、下落基調で推移しました。

財政改革の遅れや原油価格の下落による税収の低迷などを要因として、大手格付会社3社による同国発行の外貨建て長期債務格付は、現在全て投機的水準まで引き下げられています。

2016年2月以降、原油価格が回復したことや景気見通しに対する悲観論が後退したことからやや持ち直しておりますが、依然として政治経済両面で不安定な状況が続いています。

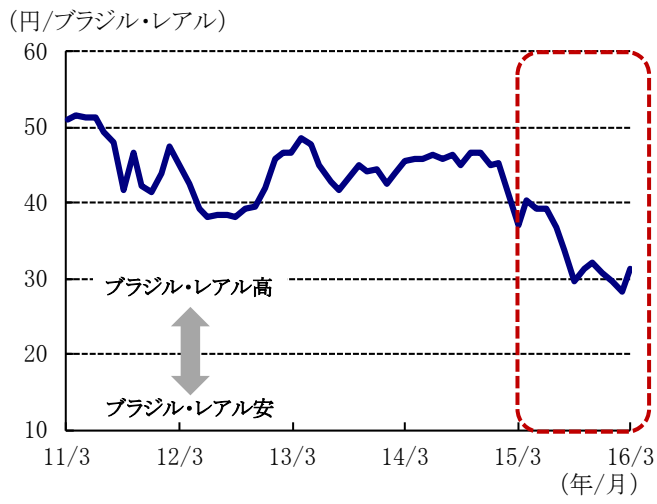
＜世界リート指数の推移＞

期間:2011年3月末～2016年3月末、月次

世界リート:S&P先進国REIT指数(配当込み、米ドルベース)
出所:FactSetのデータを基に野村アセットマネジメント作成

＜ブラジル・レアル(対円)の為替レートの推移＞

期間:2011年3月末～2016年3月末、月次



出所:ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

今後の世界のリート市場の見通しと運用方針

2016年の世界のリート市場は、低金利や不動産需要の増加などを背景に回復傾向が続く見通し

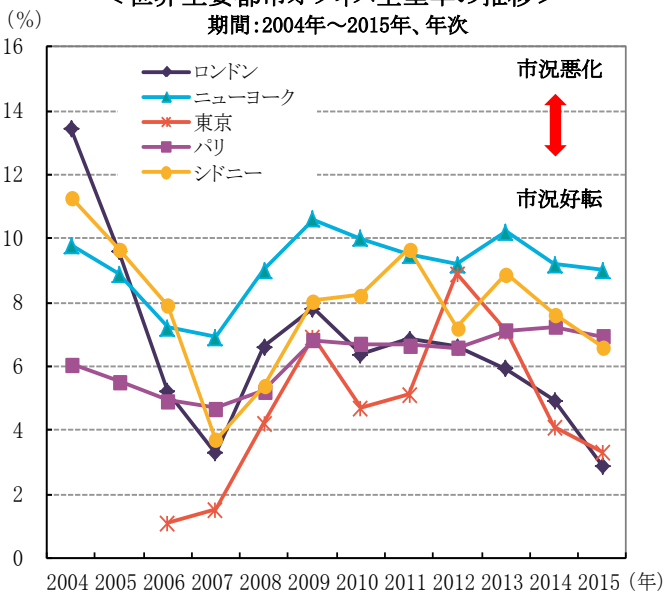
世界景気ならびに不動産市場は、2016年も回復傾向が継続する見通しです。

米国では利上げが開始されたものの、その後の利上げペースは緩やかになると見られています。その他の地域では、2016年3月にはECB(欧州中央銀行)が追加金融緩和策を発表するなど、世界的に低金利環境が継続する見通しです。低金利環境は支払利息の減少を通じて、リートの業績に好影響を与えることが期待されます。

また、景気回復が緩やかなペースで進んでいることを背景に、新規物件の供給は抑えられている一方、需要は増加しており、実物不動産の需給環境は改善が続いています。例えば、主要都市のオフィス空室率は2013年頃から概ね低下しており、それに伴いオフィス賃料は概ね上昇に転じています。今後についても、空室率の改善や賃料の上昇が続いていくと見られ、リートの収益拡大によって配当が増加していくと見られます。

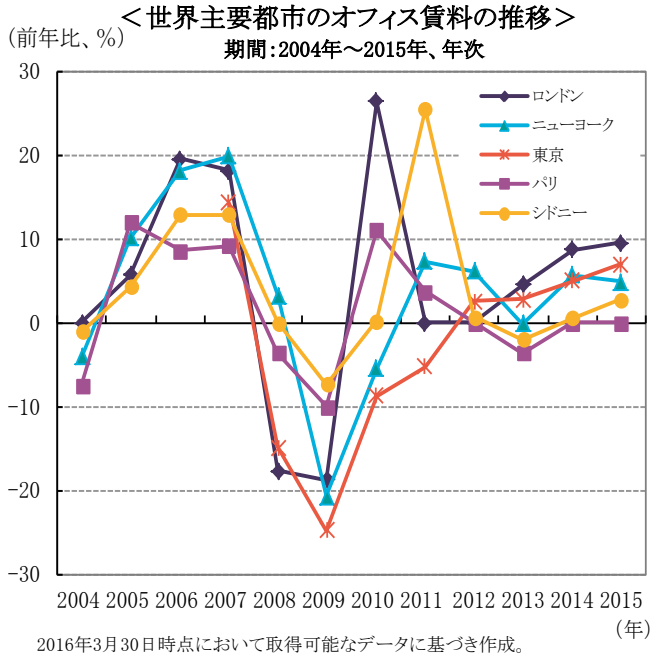
リートの収益見通しは堅調である一方、リート価格の水準は割安と見ています。これまではリート各社の収益力に対する評価よりも投資家心理の悪化に影響を受けやすい局面が多かったと思われます。しかし、市場のリスク回避姿勢が和らぐ中、リートの配当利回りの高さが再評価されることにより、投資家からの注目は高まっていくと考えられます。

＜世界主要都市オフィス空室率の推移＞
期間:2004年～2015年、年次



2016年3月30日時点において取得可能なデータに基づき作成。
ロンドン、パリ、シドニーについてはCBDプライム、ニューヨークはトータル・マーケット、東京はグレードAのデータを使用。
出所:CBREクラリオン社のデータを基に野村アセットマネジメント作成

＜世界主要都市のオフィス賃料の推移＞
期間:2004年～2015年、年次



2016年3月30日時点において取得可能なデータに基づき作成。
ロンドン、パリ、シドニーについてはCBDプライム、ニューヨークはトータル・マーケット、東京はグレードAのデータを使用。
出所:CBREクラリオン社のデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

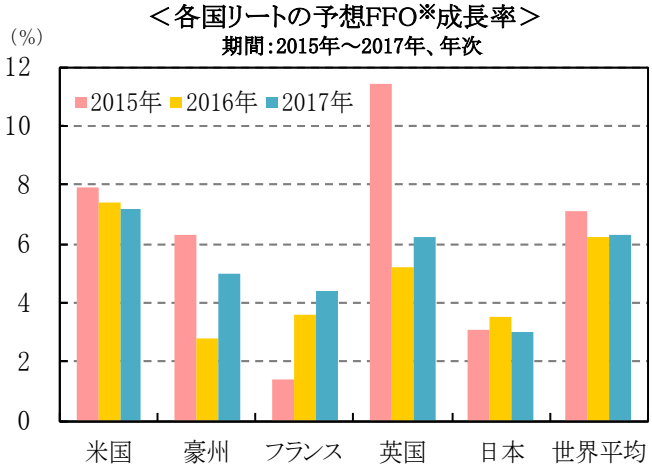
当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

世界のリートのFFOは高い成長が続くと予想

リートでは、保有する不動産からの賃料収入等からどれだけのキャッシュフロー（現金収入）を得ているかを示す数値であるFFO（Funds From Operation）で収益力を確認します。

右グラフは2015年～2017年における各国リートの予想FFO成長率です。各国で成長率に差はありますが、総じてプラス成長が続く見通しです。特に米国においては前年比7%を超える高い成長が続くと見ています。世界平均で見ても、前年比6%を超える成長が続くと予想しています。

＜各国リートの予想FFO※成長率＞
期間：2015年～2017年、年次



※FFO＝純収益+減価償却費－不動産売却益（+不動産売却損）
CBREクラリオン社の2016年2月末現在予想値です。
世界平均は時価総額を基に加重平均しています。
出所：CBREクラリオン社のデータを基に野村アセットマネジメント作成

各国リート市場について

【米国】賃貸住宅、データセンター、高級ブランドなどを揃えたショッピングモール等に注目

投資価値評価から見て割安で、透明性の高い収益成長見通し、保守的な財務方針を有する銘柄を選別します。具体的には、賃貸住宅、データセンター、質の高いハイエンド・モール（高級ブランドなどを揃えたショッピングモール）に注目します。一方、ヘルスケアについては警戒が必要です。不透明な市場においては魅力的な利回りが選好される傾向やM&Aが活発化し市場の上昇要因となる可能性についても考慮する必要があります。

物件の所在地域については、不動産市況が堅調なニューヨークなどの北東部やカリフォルニア州のサンフランシスコやロサンゼルスに注目しています。ワシントンDCやバージニア州北部については、空室率の高止まりなどが見られ、警戒が必要と考えます。

【日本】東京のオフィス市場は、長年の停滞を経て、賃料成長が回復

東京のオフィス市場は長年停滞していましたが、ここにきて賃料の成長が回復しており、オーナー（Jリート）の価格決定力が増しています。地価の上昇が続く中、空室率の低下、賃料の緩やかな上昇が見られていることから、東京のオフィスに注目しています。

【欧州】ECBの金融緩和などを背景に、2016年には不動産ファンダメンタルズが上向く見込み

欧州、主にフランスについては、不動産ファンダメンタルズの改善に時間がかかっているものの、ECB（欧州中央銀行）の金融緩和により、2016年には上向く見込みです。

質の高い物件に対する需要は高く、不動産売買市場は活発であり、キャップレート（不動産利回り）に低下圧力がかかっています。また、M&Aが活発化し市場の上昇要因となる可能性についても考慮する必要があります。平均以上の成長が期待される西欧の優良な質の高いリテール（商業・小売施設に投資するリート）に注目します。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。）ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

今後のブラジル・レアル市場の見通し

OECD(経済協力開発機構)が2016年のブラジルの実質経済成長率を前年比-4.0%、2017年を同0.0%と予測するなど景気停滞が続いています。さらに、ブラジル政府は国家財政の信認回復に向けた財政改革、歳出削減に取り組まなければならず、非常に難しい課題に直面しています。国外に目を向けると、世界経済を支えてきた中国景気の減速や資源価格の低迷などブラジル経済にとって困難な状況が続いており、当面の間は変動幅の大きい状況が続くことが予想されます。

一方、現在の政策金利は他の主要国と比較して高い水準(2016年4月8日現在 14.25%)にあり、ブラジル・レアルの価値を下支えすることが期待できます。また中長期的には財政健全化を推進することで投資家からの信任を回復することも期待でき、再び以前のような成長軌道に戻る可能性もあります。

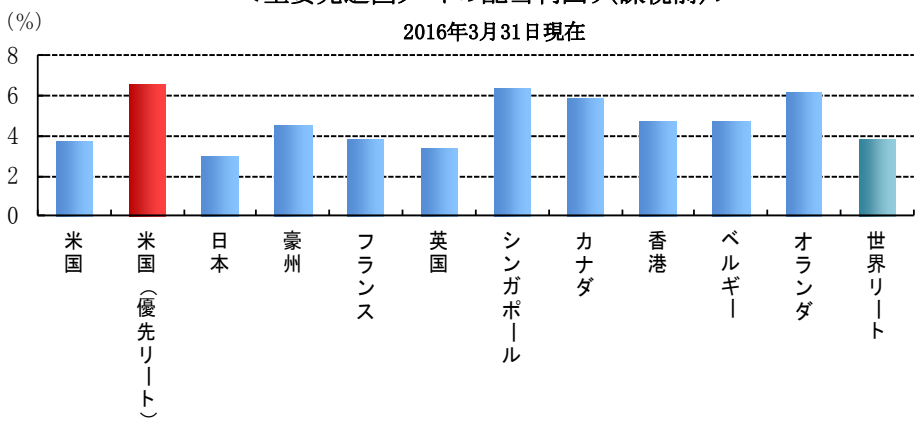
現在の為替レートは歴史的に見ても低い水準であり、中長期的には再びブラジル・レアル高となる期待が高まりつつある状況と考えます。

優先リートについて

ファンドは優先リートにも投資をしています。優先リートは、投資家に対する配当の支払いが普通リートよりも優先される一方で、議決権が付与されていないリートです。通常、優先リートの配当利回りは普通リートよりも高くなります。

米国の利上げに伴う金利上昇は、優先リートにとってマイナス要因となる可能性はあるものの、利上げペースは緩やかになる見通しです。2016年の優先リートの配当利回りは6～7%程度になると予想しています。

＜主要先進国リートの配当利回り(課税前)＞



各国・地域リート、世界リート: S&P先進国REIT指数、米国(優先リート): MSCI 優先REIT指数
(出所)FactSet、MSCIのデータを基に野村アセットマネジメント作成

今後とも「野村ワールドリート通貨選択型ファンド(愛称:ワールドリートプラス)」をご愛顧賜りますよう宜しくお願いいたします。

以上

●MSCI 優先REIT指数はMSCIが開発した指数です。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
●S&P先進国REIT指数は、スタンダード＆プアーズ ファイナンシャル サービシーズ エル エル シーの所有する登録商標です。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

● **高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して積極的な運用を行なうことを基本とします。**

● **世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます）されているREIT（不動産投資信託証券）を実質的な主要投資対象※とします。**

※「実質的な主要投資対象」とは、投資信託証券を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

■REITについて■

◆REIT（Real Estate Investment Trust）とは、「不動産（Real Estate）」に投資する「投資信託（Investment Trust）」のことです。

● **「野村ワールドリート通貨選択型ファンド」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる4本のファンド（円コース、米ドルコース、豪ドルコース、ブラジル・レアルコース）から構成されています。**

円コース	組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則として円へのエクスポージャーを純資産総額のほぼ100%程度に維持することを目指す外国投資信託に投資を行ないます。
米ドルコース	組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則として米ドルへのエクスポージャーを純資産総額のほぼ100%程度に維持することを目指す外国投資信託に投資を行ないます。
豪ドルコース	組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則として豪ドルへのエクスポージャーを純資産総額のほぼ100%程度に維持することを目指す外国投資信託に投資を行ないます。
ブラジル・レアルコース	組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則としてブラジルレアルへのエクスポージャーを純資産総額のほぼ100%程度に維持することを目指す外国投資信託に投資を行ないます。

● **円建ての外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンドーワールド・リート・ファンド」および日本円の短期金利の獲得を安定的に目指す別に定める投資信託証券（以下、「指定投資信託証券」といいます。）に投資します。**

◆ 通常の状況においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドーワールド・リート・ファンド」への投資を中心とします※が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状況においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドーワールド・リート・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

◆ 指定投資信託証券は適宜見直しを行ないます。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れたり、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合があります。

● **ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。**

● **「野村ワールドリート通貨選択型ファンド」を構成するファンド間でスイッチングができます。**

● **原則、毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。**
分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

＊委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。）ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド
（愛称：ワールドリートプラス）

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界各国のREIT（不動産投資信託証券）等に実質的に投資する効果を有しますので、当該REITの価格下落や、当該REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

●信託期間	平成33年6月17日まで（平成23年3月11日設定）
●決算日および収益分配	年12回の決算時（原則、毎月17日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
●ご購入単位	1万口以上1万口単位（当初元本1口＝1円） または1万円以上1円単位 ※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
●スイッチング	「野村ワールドリート通貨選択型ファンド」を構成するファンド間でスイッチングが可能です。 ＊販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。
●お申込不可日	販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。 ・ニューヨークの銀行　・ニューヨーク証券取引所 ・ルクセンブルグの銀行 ・サンパウロの銀行（ブラジル・レアルコースのみ） ・ブラジル商品先物取引所（ブラジル・レアルコースのみ）
●課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。

【当ファンドに係る費用】

（2016年4月現在）

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ＜スイッチング時＞ 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ＊詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.0476%（税抜年0.97%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.7276%程度（税込） ＊ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。なお、ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 （ご換金時、スイッチングを含む）	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
・投資信託は預金保険の対象ではありません。
・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。。

≪分配金に関する留意点≫

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

◆ 設定・運用は

野村アセットマネジメント
商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。）ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（愛称:ワールドリートプラス）円コース／米ドルコース／豪ドルコース／ブラジル・レアルコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第370号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○
髙木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○		○	○
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第128号	○			
丸近證券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第35号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。